

# 図書館のリニューアルオープンにあたって —「音楽とその先」を支える図書館を目指して

工事が始まる前、図書館内ではリニューアルチームを組んで、どんな図書館にしたいのか話し合いを重ねました。その結果生まれたコンセプトが、「図書館を学生の音楽への意欲と知的好奇心を触発する場に」。そして、「もっともっとたくさんの学生が気軽に集う場所に」です。

## ★ ★ 図書館リニューアルの4つの柱

この実現のため、図書館では4つのリニューアルの柱を立てました。

### ①居心地のいい空間づくり

とにかく開放的で明るい空間づくりを設計事務所にお願ひし、窓からの光と木々の緑が美しい図書館になりました。図書館のテーマカラーはグリーン。正面入口の柱、入口の案内もグリーンです。

### ②さまざまな学びのニーズとスタイルに対応したエリアづくり

知識や情報入手の手段は、Webの登場で大きく変わってきており、オンラインデータベース、音や映像の配信サービスの利用も増えています。また、学習の方法も、一人で集中することもあれば、グループで相談したりすることもあります。そこで、新図書館では、多様化する資料や学習のスタイルに対応するため、さまざまなエリアを用意しました。

### ③ゾーニングによるフロア構成

新図書館では、こうした多様なエリアをフロアごとにまとめました。

**4階・AVフロア**：音楽や映像の視聴は、音大生にとって大切な学習。AVフロアの充実が、図書館の大きな特徴にもなっています。

**3階・参考図書フロア**：2階の工事中は入館ゲートと貸出カウンターが設置されていましたが、本来ここは静かな研究・学習フロアです。集中して勉強したい人は、3階へどうぞ！

**2階・メインフロア**：ここは、生まれ変わった図書館を象徴するフロアです。開放的な多目的スペースの「ライブラリーホール」、開架図書と学習席の充実した「スタディールーム」、そしてメインカウンターの3つのスペースから構成されているフロアです。「ライブラリーホール (Libホール)」は使い方自由の空間で、1人で雑誌を読んでよし、考え事をしてよし、グループでアンサンブルや発表の相談をしてよし(ただし、ボリュームにはご注意ください)です。「スタディールーム」には、60席の座席を用意しました。パソコンはこちらでどうぞ。

### ④手に取れる資料を増やす

当館は、図書館資料のほとんどは書庫の中。OPACで検索はできるけれど、やはり資料は手にとって選びたいですね。新フロアでは、新着図書、シラバス本などの図書をコーナー別に本棚に並べます。手に取れる図書は、これからも少しずつ増やしていきます。

## ★ ★ 図書館の利用に関する思い

当館は、音楽に関わる資料の数・質ともに国内でもトップクラスといわれており、書庫には40万点の資料を所蔵しています。また、学術的に貴重な資料も充実しています。こうした資料は、使ってもらってこそ生きてくるものです。だからこそ、みなさんに、もっともっと図書館に来てもらいたい。特に目的がなくても、待ち合わせでもOKです。何度も図書館に足を運ぶ中で、さまざまな本、情報、人に出会って頂ければと思うのです。また、図書館では、音楽を学ぶ先の未来についても考えてほしいと思っています。スタディールームでは、教職、資格取得、留学や語学など、将来に役立つ図書も揃えていきます。

## ★ ★ ★ 今後の図書館イベントなど

図書館では先生方にもご協力頂きながら、新フロアの「ライブラリーホール」で「ライブラリー・レクチャー」や「ライブラリー・トーク」などの図書館所蔵資料を使ったイベントを開催していきます。また、図書館にあるたくさんの資料を、さまざまな展示で紹介していく予定です。

新しく生まれ変わった図書館に、どうぞ足を運んでくださいね！  
(主任司書)



正面入口



メインカウンター



スタディールーム

## ★ ★ ★ ★ ★ ライブラリーホール ★ ★ ★ ★ ★



吹き抜け



吹き抜けエリア



ピアノエリア



ホール